

令和4年度池田市図書館の運営に関する評価

令和5年12月

1 評価の目的

池田市図書館では、図書館法第7条の3及び「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成24年文科省告示）に基づき、毎年度図書館として取り組むべき目標を定め、当該年度における取組み結果について評価を実施しています。その結果に基づき、図書館運営の改善を図っていきます。

2 評価の方法

（1）自己評価

- ・評価項目は、基本的な利用に関する項目と「池田市図書館運営方針」に基づく施策に関する項目で設定し、自己評価を行います。
- ・数値評価は目標値を対前年度比増に設定します。

（2）外部評価

- ・図書館協議会において、当該年度の活動実績と自己評価について報告するとともに外部評価を実施します。

3 評価の基準

- A 計画どおり実施し、一定の成果があった。
- B 概ね計画どおりだが、課題が残った。
- C 計画に遅延があるなど不十分な点や課題が多かった。

（1）基本的な利用に関する評価について

（年度末比較）

指標	令和4年度	令和3年度	前年度比		図書館 評価	協議会 評価
年間来館者数	558,250 人	371,638 人	186,612 人増	50.2%増	A	A
年間貸出人数	299,583 人	224,602 人	74,981 人増	33.4%増	A	A
年間貸出冊数	773,485 冊	588,691 冊	184,794 冊増	31.4%増	A	A
有効登録者数※	18,821 人	16,008 人	2,813 人増	17.6%増	A	A

※個人利用者数

●自己評価説明

令和4年度は、複合施設ツナガリエ石橋内に石橋図書館が移転開館し、旧石橋プラザに比べて蔵書数が約3倍に増加したことに加えて、いきいきライフコーナーやSDGsコーナーの設置など利用しやすい棚づくりに取り組み、地域住民への図書館サービスの拡大に努めた。

また、石橋図書館の開館に伴い、自動貸出・返却機、セキュリティゲート（盗難防止装置）、予約棚のシステムを全館に導入し、利用者のプライバシー保護と利便性向上、貸出業務の効率化を図った。

前年度と比較したところ、全ての指標が増加傾向となり、石橋図書館の開館と新型コロナウイルス感染症の規制が徐々に緩和された影響が窺える。

定例の行事も感染対策を実施しながら滞りなく開催でき、様々な活動がコロナ禍前の姿を取り戻していく1年となった。

今後は、全館で導入済みとなったセルフサービスシステムのPRに努めるとともに、令和5年度に導入する電子図書館システムにより、図書館から遠方にお住いの方や障がい、子育て、介護、仕事、学校生活等により図書館への来館が困難な方への利用拡大に取り組みたい。

●図書館協議会の意見

- ・移転やコロナ下など状況の変化もあり、比較は難しいが、令和4年度は石橋図書館の移転開館やコロナの規制緩和もあり、来館者数や貸出者数など、どの指標も前年度を上回っていることから、評価は全てAとする。

●結果の分析及び改善策

- ・来館者数については、前年度比50.2%増となっており、特に石橋図書館においては、前年の3倍近い来館者数となったことから、館の規模の拡大に伴い蔵書数が増加し、地域住民へのサービス向上について一定の効果が得られたと考えられる。
- ・石橋図書館の開館にあわせて、全館で導入済みとなったセルフサービスシステムを有効に活用し、利用者のプライバシー保護に努めるとともに、業務の効率化をめざす必要がある。
- ・両館ともに移転し、新館として開館したことから、今後は両館が連携を図りながら、それぞれの地域住民へ向けた特徴ある事業を展開していく必要がある。

(2) 「池田市図書館運営方針」に基づく施策評価

① 多様な資料・情報の収集、整理、保存に努め、市民の読書活動を推進します。

※●は令和4年度重点目標

目 標	「池田市図書館収集方針」に基づいた資料の収集			
具体的取組み	選書委員会の実施による適正な資料の収集、保存を行う			
取組み結果	- 蔵書数 405,603 冊（前年 401,562 冊、前年度比 1%増） 寄贈書を活用し、新規受け入れ資料の充実を図るとともに、除籍により適正な蔵書管理に努めた。 - また、傷みの著しい資料のうち、今後も提供が必要な資料については、買い替えや寄贈資料での差し替え作業を積極的に実施した。 - 開架冊数 198,485 冊：池田 137,680 冊、石橋 60,805 冊 （前年 189,591 冊（5%増）、池田 136,551 冊（1%増）、石橋 53,040（15%増）） 池田・石橋の両館とも収容予定冊数を超えた蔵書数となった。 - 市民 1 人あたりの蔵書数は 3.9 冊となった。（前年 3.9 冊）			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	●郷土資料・行政資料の充実			
具体的取組み	郷土資料や行政資料の充実、整理、市民への周知に努める			
取組み結果	- 郷土資料蔵書数 池田 9,313 冊 石橋 1,738 冊 （前年 池田 9,514 冊（2%減） 石橋 1,576 冊（10%増）） 前年度に引き続き、両館の郷土資料コーナーの充実に取り組んだ。池田から石橋へ資料を移動させたことから、池田の所蔵数は減少となった。また、書庫資料を整理するとともに、内容を精査し郷土資料から一般資料への変更なども適宜行ったため、全体では前年度に比べ 39 冊の減少となった。 - 郷土資料の展示コーナーを作成し、植木やウォンバットなどのテーマで資料展示を行った。（展示回数 5 回） - 郷土文献リストを図書館ホームページに公開した。（5 件）（前年 3 件） - 郷土資料に関する調べ案内を作成した（3 件）（前年 2 件） - 安藤百福、小林一三についてのコーナーを新設し、見つけやすいよう表示を工夫した。（石橋） - 郷土に関するレファレンスについて、自館システムへの事例登録を行った。（7 件）（前年 7 件）			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	池田図書館と石橋図書館の連携と特色ある棚づくり			
具体的取組み	それぞれの館の特性に応じた資料収集と棚づくりに努める。			
取組み結果	・医療情報コーナー蔵書数 1,434 冊 棚の配置を見直し、ガイドラインなど情報が更新されている分野については新しい資料を選書し、入れ替えを行った。 ・子育て支援コーナー蔵書数 1,439 冊（池田 1,114 冊 石橋 325 冊） ・洋書コーナー蔵書数 1,338 冊（池田 963 冊 石橋 375 冊） ・いきいきライフコーナー蔵書数 1,174 冊 ・SDGs コーナーを 17 の目標ごとに資料をまとめ、分かりやすく表示した。（蔵書数 293 冊）（石橋） ・テーマ展示回数 87 回（池田 58 回 石橋 29 回） ・ツナガリエ石橋 5 階のダイバーシティセンター内に図書館のダイバーシティコーナーを設置し、関連資料を収集、利用者への貸出しを実施した。（蔵書数 200 冊）（石橋）			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

◆図書館協議会の意見

- ・ウォンバットの展示は五月山動物園から提供されたグッズもあり、パンフレットや関連資料もまとまっていて大変良かった。
- ・ツナガリエ石橋は、1 階ロビーや 5 階の多目的スペースが自習や憩いの場として活用できて便利である。建物の外観から図書館があることが分かったと良いと思う。
- ・郷土資料の展示は池田市の PR としても、とても良い取組みである。今後も色々なテーマでの展示を期待している。特に学生に向けたテーマを工夫してほしい。
- ・3 項目とも協議会の評価は A とする。

◆結果の分析及び改善策

- ・郷土資料は多岐に渡っていることから、今後も市の PR につながる展示に取り組みたい。
- ・イベントとコラボした展示等、多方面から魅力的な企画を実施し、図書館への来館促進につなげたい。
- ・蔵書の管理に関しては、電子図書館導入により、紙の資料と電子資料のバランスを考慮しつつ資料の保存方法を検討する必要がある。

② 社会の変化と市民のニーズに対応した情報を発信し、地域住民の課題解決に役立つ図書館づくりをめざします。

※●は令和 4 年度重点目標

目 標	●課題解決サービスの充実			
具体的取組み	●各種データベースの活用 ・レファレンスサービスの充実 ・各種講座の実施			
取組み結果	・レファレンス事例を、自館システム及びレファレンス協同データベースへ登録した。(自館システム登録：70件、レファレンス協同データベース：2件) ・SDGsコーナーの蔵書数 293冊 ・オンラインデータベース利用件数 494件(前年 128件) ・各種講座の実施回数 28回 定例の手話講座をはじめ、「子どもの夢をかなえるワークショップ」「絵本の読み聞かせ講座」など、感染防止対策を講じたうえで各種講座を実施した。			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	ホームページやSNSの活用			
具体的取組み	・図書館から、行事やおすすめ資料などの情報を積極的に発信する。 ●インターネット予約の利用促進に努める。			
取組み結果	・インターネット予約件数 118,554件(前年 98,515件 (20%増)) ・OPAC利用件数 1,679,135件(前年 1,429,033件 (18%増)) インターネットからの利用については検索、予約ともに大幅な増加となった。 ・インターネットを活用したセルフでの予約・貸出の利用について、体験講座を実施し、利用者への周知に努めた。(体験講座1回 2人) ・ホームページの改修を実施し、サイト内検索が可能になった。 ・図書館ホームページやTwitterにて行事や展示の案内・報告を発信した。			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	広域利用・相互貸借の促進			
具体的取組み	・7市3町広域利用及び川西市との相互利用の促進 ・相互貸借の活用			
取組み結果	・7市3町広域利用数 登録者 1,557人(前年 1,427人 (9%増)) 利用数 池田市→他市町住民 4,311人、10,356冊 (前年 2,710人 (59%増)、6,779冊 (53%増)) 他市町→池田市民 9,725人、31,595冊 (前年 9,115人 (7%増)、29,584冊 (7%増)) 広域利用全体 109,243人 353,918冊 (前年 87,840人 (24%増)、286,991冊 (23%増)) 今年度は感染対策を講じながら開館を続けられたこともあり、広域利用は全体的に増加傾向となった。特に他市町民の池田市利用については、前年度と比較すると大幅な増加傾向がみられた。			

	・川西市との相互利用 登録者 1,081 人(前年 1,021 人 (6%増)) 利用数 池田市→川西市民 2,790 人、6,815 冊 (前年 1,911 人 (46%増)、4,782 冊 (43%増)) 川西市→池田市民 3,180 人、8,959 冊 (前年 4,291 人 (26%減)、12,110 冊 (26%減)) 相互利用全体 5,970 人、15,774 冊 (前年 6,202 人 (4%減)、16,892 冊 (7%減)) 川西市民の池田市利用は前年度と比較すると利用人数、貸出冊数は約 40%増加したが、池田市民の川西市利用については 26%の減少となった。 ・相互貸借件数 借受 2,955 冊(前年 2,655 冊 (11%増)) 貸出 1,069 冊(前年 890 冊 (20%増)) 今年度は臨時休館もなく、安定して相互貸借業務を進められたことから、借受・貸出ともに前年度を上回る結果となった。			
評価	図書館	B	図書館協議会	A

◆図書館協議会の意見

- ・ O P A C の利用件数がとても多い。利用者が自ら検索でき、職員配置の必要もないことから、利用率が上がることは良いと思う。今は小学生もインターネットを使い慣れており、利用件数の増加は時代の流れを感じる。
- ・ 来館して利用してもらうのが一番だが、館内のスペースやキャパシティの問題もあり、インターネット予約での資料の受け取りは一定のニーズに合った効率的なサービスと言える。
- ・ インターネット予約を活用している利用者は、今後導入になる電子図書館もスムーズに活用できそうである。
- ・ 相互利用は、池田市民の川西市利用が減少しているが、川西市民の池田市利用や北摂の広域利用は増加していることから、全体的には活性化していると考えられる。
- ・ 広域利用や相互利用のサービスを知らない市民も多いことから、更に P R をすると効果が出ると思われる。
- ・ 3 項目とも協議会の評価は A とする。

◆結果の分析及び改善策

- ・ インターネット予約の利用増加に伴い、予約棚や自動貸出機の利用率も増加しており、セルフサービスシステムの定着が窺えるが、電話連絡の希望者も一定数存在することから、サービスの取りこぼしがないよう配慮する必要がある。
- ・ 定期的に講座等を開催し、インターネット予約の利用法を P R することで、セルフサービスシステムのさらなる浸透に努める。
- ・ 広域利用・相互利用に関してポスター掲示やインターネットでの案内等を工夫して利用促進に努める。

③ 子どもたちの豊かな「学び」を応援し、学校、家庭、地域等と連携して子ども読書活動の推進を図ります。

※●は令和4年度重点目標

目 標	子どもへの読書機会の提供			
具体的取組み	・児童書の充実 ・おはなし会の開催 ・テーマ展示実施 ・各種ブックリストの作成			
取組み結果	・児童書冊数 131,650 冊（前年 130,299 冊（1%増）） 書庫資料の整理をすすめるとともに、児童書の充実を図ったことにより、全体では 1,351 冊の増加だが、開架冊数は 63,698 冊（前年 60,675 冊）と前年度に比べ 3,023 冊（5%）の増加となった。 ・おはなし会実施回数 69 回 729 人（前年 22 回 241 人） 前年度に引き続き予約制で参加人数を制限しての開催となったが、今年度は中止することなく実施回数・参加人数ともに大幅な増加となった。 ・テーマ展示実施回数 41 回 季節やトピックスに合わせ様々なテーマでの展示を実施した。 ・調べ案内や、おはなし会で読んだ絵本・紹介された絵本のブックリストを作成した。（池田 1 件、石橋 1 件） ・kodomoto いけだと連携し、HP に司書による絵本紹介を掲載した。 ・石橋図書館開館記念行事として、さいとうしのぶ氏のトーク＆ライブを開催した。（石橋 参加人数 48 人）			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	ヤングアダルトサービスの充実			
具体的取組み	・10's コーナーの活性化 ・10代向けブックリストの作成			
取組み結果	・10's コーナー蔵書数 6,996 冊 職場体験学習の中学生が作成した資料紹介ポップの作成及び本の展示を実施したほか、「部活」や「将来どうする？何になる？」など、10代に向けて身近なテーマで資料を選書し、展示を実施した。（展示回数 6 回） ・テーマ展示のブックリストを図書館ホームページの 10's のページに掲載した。 ・10代向けの読み物や、進路や職業選択に役立つ資料の充実を図った。			
評 価	図書館	B	図書館協議会	B

目 標	学校図書館との連携促進			
具体的取組み	学校司書と連携し、調べ学習用資料などを提供する。			

取組み結果	・団体貸出冊数 23,093 冊（前年 27,807 冊（17%減）） ・調べ学習支援件数 60 件 ・学校図書館教育研修会を図書館で開催し、双方からの連絡や情報共有につとめ、学校司書のニーズの把握や資料提供に役立てた。 ・前年度から学校との連絡をメールでも受け付けられるようになり、密な連絡が可能となった。レファレンスや調べ学習用の資料収集、貸出については市内連絡便で配送するなど、迅速な対応に努めた。 ・「感染症」に関する子ども向けの調べ方案内を作成した。			
評価	図書館	B	図書館協議会	B

目 標	団体貸出しの充実			
具体的取組み	学校や文庫、地域コミュニティなどへの団体貸出しを実施			
取組み結果	・団体貸出冊数 21 団体 23,093 冊（前年 21 団体 27,807 冊（17%減）） 4月の石橋図書館移転開館からしばらくは地下書庫や団体業務の態勢を整えていたため、年度初めの選書が見送りとなったこともあり、前年度に比べて貸出冊数は減少した。			
評価	図書館	C	図書館協議会	B

目 標	見学や職場体験学習の受入れ			
具体的取組み	小学校の見学や中学校の体験学習の受入れを実施			
取組み結果	・見学受入件数 8 件 今年度は来館しての図書館見学だけではなく、要望のあった学校には ZOOM による図書館見学授業も実施した。 ・職場体験学習受入件数 2 件 例年実施している職場体験に加え、生徒が司書職員に図書館員としての仕事について質問する職業インタビューも実施した。			
評価	図書館	A	図書館協議会	A

◆図書館協議会の意見

- ・「ヤングアダルトサービスの充実」については、テーマ展示のブックリストをホームページへ掲載するだけではなく、各学校へ紙媒体の配布も合わせて行うことで認知度が上がると思われる。

- ・各小中学校と連携して、図書館のホームページを授業などで利用する機会を設けると図書館の利用促進につながるのではないかな。
- ・学童保育で本が足りないという声をきく。団体貸出を活用できるような仕組みが必要である。
- ・協議会の評価は、「子どもへの読書機会の提供」「見学や職場体験の受入れ」についてはA、「ヤングアダルトサービスの充実」「学校図書館との連携促進」、「団体貸出しの充実」についてはBとする。

◆結果の分析及び改善策

- ・「ヤングアダルトサービスの充実」については、以前に学校へ配布していた10's（ティーンズ）通信の作成に取り組む。
- ・電子図書館の導入後は、学校司書と連携し、児童・生徒の活用を促進する。
- ・学童保育等への団体貸出について依頼があった場合の貸出方法等を検討する。
- ・学校見学や職場体験学習については、学校側と協議しながらより良い方法で実施できるよう検討する。

④ 図書館ボランティアとの協力を深めるとともに、市民同士の交流の機会・場を提供し、市民がわくわくしながら集い、出会う、楽しい図書館をめざします。

※●は令和4年度重点目標

目 標	ボランティアとの協働事業の実施			
具体的取組み	・図書館ボランティアとの連携行事の開催 ・活動の場の提供			
取組み結果	・年間ボランティア参加人数 1,797 人（前年 920 人 （95%増）） 今年度は休館せず開館を続けられたこともあり、ボランティアの参加人数は前年度に比較して大幅に増加した。 ・ボランティアとの連携行事開催回数 5 件（体験行事、絵本の読み聞かせ講座） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、図書館まつりは今年度も未実施となったが、読書週間にちなんでボランティア紹介のポスター展示や日程を分けて体験行事を開催した。（池田 参加人数 146 人）			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	各種行事の開催
具体的取組み	・他機関等と連携した行事の開催 ・市民グループ等の学習、発表の機会、場を提供する。

取組み結果	・年間行事開催回数 163 回（前年 46 回） おはなし会や手話講座など、毎月の定例行事については人数制限など感染拡大防止策を講じ、中止することなく開催を継続することができた。 ・市内イベント「おさんぽマルシェ」とコラボした展示や行事を実施した。（池田） ・石橋図書館の開館記念イベントや、ダイバーシティセンターおよび地域子育て支援拠点と連携したツナガリエ石橋まつりを実施した。（石橋）			
評価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	図書館協議会の開催			
具体的取組み	多様化する図書館へのニーズに対応するため、図書館協議会の審議を図書館運営に反映し、利用者サービスの向上を図る			
取組み結果	・開催回数 3 回（前年 3 回） ・協議会からの提案に基づく事業内容 郷土資料を市民に親しんでもらう取組みとして、五月山動物園のウォンバットをテーマに郷土企画展示を実施した。 図書館の取組みについて割合を表記し、前年度と比較しやすいようにした。			
評価	図書館	A	図書館協議会	A

◆図書館協議会の意見

- ・ツナガリエ石橋まつりについて、3施設が連携したとても良い取組みのため、今後も継続した開催を期待する。
- ・歴史民俗資料館とのコラボ展示を開催すると市民へのPRになると思う。
- ・「ボランティアとの協働事業の実施」について、絵本の読み聞かせ講座では様々な年齢の参加者があり、ボランティア側としても読み聞かせのニーズがあることが把握できたことから、とても良い取組みであった。
- ・池田市立図書館は移転前に比べるとイベントスペースとしては制限があることから、石橋図書館での開催等、柔軟に開催方法を検討していただきたい。
- ・3項目とも協議会の評価はAとする。

◆結果の分析及び改善策

- ・ツナガリエ石橋まつりについては、ダイバーシティセンターや地域子育て支援拠点わたぼうしとの連携を深めながら今後も継続した実施を検討する。
- ・旧図書館のようなスペースがないため、展示や行事には制限があるが、行事開催の日程を分散、各ボランティア活動の紹介に焦点をあてるなど、これまでと違う形を検討しながら開催する。

⑤ 安心・安全な読書ができる環境を整備するとともに、図書館利用が困難な市民へのサービス拡充を図り、誰にでもやさしい図書館をめざします。

※●は令和4年度重点目標

目 標	障がい者サービスの充実			
具体的取組み	・障がい者支援資料の充実を図る ・ボランティアとの連携を強化する。			
取組み結果	・障がい者支援資料数 4,479 点（前年 4,416 点（1%増）） ・未蔵書のものについてはサピエ図書館のネットワークを活用し、デジタイズ図書 356 点を利用者に提供した。（前年 491 点（27%減）） ・デジタイズ図書の所蔵目録を作成し、利便性の向上とともにPRにつとめた。			
評 価	図書館	B	図書館協議会	B

目 標	●多文化サービスの充実			
具体的取組み	●多言語おはなし会の開催 ●洋書コーナーの充実			
取組み結果	・オコタック（おおさかこども多文化センター）と連携し、多言語おはなし会を開催した。（石橋1回 32人） ・石橋図書館開館にあわせ図書館利用案内の多言語版を改訂した。 ・洋書冊数 1,530 冊（池田 1,204 冊 石橋 326 冊） 池田、石橋ともに洋書コーナーの蔵書増加につとめた。（前年 1,348 冊（13%増）） ・英語多読本冊数 197 冊（前年 169 冊（17%増）） ・呉服小学校の児童が作成した「多読本えほん」の企画展示を池田・石橋両館で行った。			
評 価	図書館	A	図書館協議会	A

目 標	図書館への来館が困難な市民へのサービス充実			
具体的取組み	・宅配サービスの実施 ●移動図書館サービス ・電子図書館の導入検討			
取組み結果	・宅配サービス貸出冊数 111 冊（前年 49 冊：(127%増)） 宅配サービスの新規利用者が増えたこともあり、貸出件数が大幅に増加した。 ・移動図書館利用者数 2,430 人 11,119 冊（前年 2,035 人：(19%増) 7,991 冊：(39%増)）			

	・移動図書館新車両による巡回開始及び巡回ステーション「くすのき学園」増設 ・市内幼稚園への移動図書館派遣事業を開始したほか、巡回ステーションでのおはなし会を開催し、来館が困難な市民へのサービスを拡大した。 (おはなし会 1 回 3 人) ・電子図書館導入に向け、デジタル田園都市国家構想交付金の申請を実施した。			
評価	図書館	A	図書館協議会	A

目標	良好な読書環境の維持			
具体的取組み	・利用マナーの向上を図る。 ・分かりやすい案内や掲示の推進 ・セルフサービスシステムの利用促進に努める。			
取組み結果	・マナーアップキャンペーン（汚・破損本の展示によるマナー向上啓発）を実施した。（1 回） ・自動貸出機利用冊数（池田 290, 163 冊 石橋 140, 344 冊） 池田では全貸出冊数のうち 52%、石橋では 69%が自動貸出機を利用） ・予約棚を設置し、セルフサービスでの予約図書の受け取りが可能になった。 ・館内マナーのサインやピクトグラムの表示について、大きさなどを見やすいものに変更し、新聞コーナーや閲覧コーナーへ設置した。（池田） ・筆談での案内について、ピクトグラムの表示を各カウンターに設置した（石橋） ・絵本棚の段数を見直し、利用者が探しやすい棚づくりを行った。（石橋）			
評価	図書館	A	図書館協議会	A

◆図書館協議会の意見

- ・「安心・安全な読書ができる環境」とあることから、防火訓練や非常時の対応について図書館の安全担保に取り組んでいただきたい。
- ・汚損本の手続きや本の修理の方法を初めて知る市民も多いと思われる。「マナーアップキャンペーン」のように周知の機会を設けることは良い取組みだと思う。
- ・電子図書館の導入により、来館しにくい市民への読書推進につながることを期待する。

◆結果の分析及び改善策

- ・不審者へは必ず複数名で対応をすることとし、防災訓練では全員で非常口や避難誘導の確認を行う。また、石橋図書館ではツナガリエ石橋内の 3 施設合同の消防、防犯訓練を実施する。
- ・池田市立図書館が駅前へ移転してから、利用数の増加とともに汚損・紛失件数も非常に増加していることから、毎年度定期的にマナーアップキャンペーンを実施し、本の扱い方や汚損してしまった場合の対処法について P R していきたい。